



一般質問

12月定例会では、35人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分。ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

<会派の略称>
市民連合=市民連合・あい
ガバナンス=ニューガバナンス

教育

学校周年行事

学校創立の節目ごとに決まりで行われる周年行事に地域の関係者などが参加し、その節目の代表である議員の招待について、教育委員会はどのように祝うことは、子供達に愛校心を育てる面で大切であると思う。学校では、その招待者をどのように決めているのか。また、地域の代表である議員の招待について、教育委員会はどの

地域の代表である議員の招待は自由に参加できるよう配慮

鈴木啓一議員(ガバナンス)

学力向上政策

携帯電話のネットいじめ

文部科学省は人格や容姿、能力などを中傷する学校裏サイトが、全国で3万8千件以上あると発表した。いじめは減少しているのに、携帯電話を使用したネットいじめは増加している。子供達が被害にあつた時の早急な対応と有害情報から子供達を守る対策を問う。

堀越 優議員(公明党)

教育予算

教育予算

日本の教育予算は、OECD(経済協力開発機構)がGDP(国内総生産)比で平均5%であるのに、佐藤義一議員(市民連合)

増加する有害サイトへの対応は家庭や学校、関係機関の連携必要

文部科学省は人格や容姿、能力などを中傷する学校裏サイトが、全国で3万8千件以上あると発表した。いじめは減少しているのに、携帯電話を使用したネットいじめは増加している。子供達が被害にあつた時の早急な対応と有害情報から子供達を守る対策を問う。

堀越 優議員(公明党)

学力向上政策

全国学力テスト結果受け政策転換を教育計画の点検と見直しに努める

21年度の補助教員の人数と予算は予算を総合的に勘案し増員予定

数と予算について問う。答発達障害のある児童・生徒への支援は、情緒面の安定、社会性を育てる、学力をつける、の3点を基本に個々の教育的ニーズへの対応が必要と考える。今後教育委員会全体の予算を総合的に勘案し、特別支援学級等補助教員を通常学級に5人増員する予定である。

宮田かつみ議員(ガバナンス)小中学校の通常学級において、発達障害のある子供と健常者が一つの教室で共に教育を受けるにはどうす

べきかについて、以前から質問してきた。発達障害のある子供の保護者にとって複数の教員によるきめ細かい指導が望ましいが、平成21年度の補助教員の人

員を図るべきだ。答数値化できるものは数化していく。授業分析により、沈んでいる部分は授業改善し、市内全小中学校と課題を話し合い、教育計画の点検と見直しに努める。

度は72・7、60・9、60・7、48・6で国・県を下回った。教育政策を評価検証し、中期計画に反映し、政策転換を図るべきだ。

答数値化できるものは数化していく。授業分析により、沈んでいる部分は授業改善し、市内全小中学校と課題を話し合い、教育計画の点検と見直しに努める。

幼稚園

私立幼稚園への補助

松永修巳議員(緑風会)私立幼稚園児童教育振興費補助金の教材費は、当初は4、5歳児に1人年額2500円が補助されていたが、平成11年度に補助金一律カットにより2250円とされ、20年度には対象年齢を3歳児まで拡大したものため、1600円に減額

教材費助成を増額できないか充実に向けて努力していく

が、平成11年度に補助金一律カットにより2250円とされ、20年度には対象年齢を3歳児まで拡大したものため、1600円に減額

教材費助成を増額できないか充実に向けて努力していく

が、平成11年度に補助金一律カットにより2250円とされ、20年度には対象年齢を3歳児まで拡大したものため、1600円に減額

されている。幼稚教育は市の将来にかかり、その中権を担う私立幼稚園協会等からも増額の要望が出ている。市の対応を問う。

答教材は園児が毎日使うものなので、予算の範囲内で調整していく。現状では、以前の補助額に戻すこととは難しいが、充実に向けて努力していく。

まちづくり

都営地下鉄本八幡駅地下通路

勝亦竜大議員(市民連合)本八幡地区再開発地域の風害を市民から聞く。風害対策と大雨等を避けるため、都営地下鉄本八幡駅のアフリ化が急務であるが

再開発事業で利便性向上図る

地下通路の利用が考えられるが、高齢者や子供連れが利用しやすいように、京成ターミナルの設置等によるバリアフリー化、交通結節点としての利便性の向上など様々取り組みを行っている。

北東部に新駅設置のため見直しを審議会等の意見広く聞き入れたい

加藤武央議員(自由クラブ)北東部の調整区域内に計画される東京10号線延伸新線とJR武蔵野線が交差するJA市川市経済センター

地下通路への整備、エレベーター・エスカレーターの設置等によるバリアフリー化、交通結節点としての利便性の向上など様々取り組みを行っている。

新駅の設置は街づくりの一つのきっかけと考える。都市計画マスター・プランの変更は現在考えていない

が、策定後4年が経過している。見直しをする場合に

は社会経済情勢の変化等に対応するため、審議会等の意見を広く聞いていく。

新駅の設置は街づくりの一つのきっかけと考える。都市計画マスター・プランの変更は現在考えていない

が、策定後4年が経過している。見直しをする場合に

は社会経済情勢の変化等に対応するため、審議会等の意見を広く聞いていく。